

様式

委員会規則第3条第1項に基づく届出書

平成30年1月31日

1. 執行機関の別	1: 都道府県知事・市区町村長等
	<input type="radio"/> 知事 <input checked="" type="radio"/> 市区町村長等
2. 都道府県名	大阪府
3. 市区町村名	富田林市
4. 届出番号	7
5. 独自利用事務の事例番号	94-2
6. 届出書を公表しているウェブページのアドレス	http://www.city.tondabayashi.lg.jp/soshiki/4/17546.html

執行機関名 富田林市長

介護サービス等利用者負担軽減に関する事務

1. 準ずる法定事務の名称と趣旨又は目的の内容等

	(1) 法定事務	(2) 独自利用事務
①事務の名称	介護保険法による保険給付の支給、地域支援事業の実施又は保険料の徴収に関する事務であって主務省令で定めるもの	介護保険サービスに係る利用者負担の助成に関する事務であって規則で定めるもの(市独自減免)
②番号法別表第1の項	68	
③番号法別表第2の項	94	
④番号法第9条第2項に基づき定める条例の名称及び①の該当部分		富田林市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例(平成27年富田林市条例第25号)別表第1 第6の項 介護保険サービスに係る利用者負担の助成に関する事務であって規則で定めるもの
⑤事務の趣旨又は目的が規定されている箇所	介護保険法第1条第1項	富田林市介護保険利用者負担額助成事業実施要綱 第1条
⑥事務の趣旨又は目的	この法律は、加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共同連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。	この要綱は、介護保険法(平成9年法律第123号。以下「法」という。)第1条に規定する保健医療サービス及び福祉サービスの利用者負担額(以下「利用者負担額」という。)の支払により著しく生活が困難となる低所得者に対し、その一部を助成することによって、サービスの利用を促進するとともに市民生活の安定を図ることを目的とする。
⑦独自利用事務の関連規範		富田林市介護保険利用者負担額助成事業実施要綱(平成22年富田林市要綱第16号) 富田林市介護保険事業における居宅介護(支援)サービス費等の額の特例に関する要綱(平成12年富田林市要綱36号)